

春になったので

大掃除をしましょう!!!

春を感じる季節になりました。ヨーロッパでは、寒い年末ではなく、イースターのある春先に大掃除をします。天気の良い日には、動きやすい服装に着替えて、普段は時間がなくて手がでない窓拭きや台所の油污れ落とし、カビの除去などに焦点を当てて、家をきれいにしませんか？

【台所】

一番気になるのは、油で汚れた換気扇やレンジの周りです。毎日夕食後に掃除をしていても、しばらくすると油がこびりついているのが気になります。換気扇のフィルターは、食洗機で洗えるタイプのものが主流になっているので、揚げ物の後は、すぐに食洗機に入れて洗っておくのがいいですね。つい洗いそびれてしまったら、まず食器用洗剤やCif(写真右)などで、大まかな汚れを落とし、それから食洗機に入れて洗うときれいになります。食器と一緒に洗うのに抵抗がある場合は、換気扇のフィルター、レンジの枠などは別にして食洗機で洗うと、楽に掃除を完了できます。



また、レンジの周りは、夕食後毎回洗剤を使用してきれいに掃除しておく、大掃除の必要がありません。レンジの周りの床や窓などにも、油が飛び散っています。この辺りもマメに洗剤を使って油を拭き取るようにしましょう。

【窓・床・壁】

窓ガラスが雨や鳥の糞などで汚れているのが分かっていても、忙しくてなかなか掃除をしないというのが現状ではないでしょうか？窓を磨くと、部屋が一段と明るくなります。3か月に一度くらいの割合で窓を拭いておくと、汚れがひどくなる前に簡単にきれいにできます。ガラスの部分は、Instanet(写真右)を使うと簡単に汚れが落ちます。窓枠は、Cifで磨くときれいになります。両面をきれいにしないと意味がないので、天気の良い日に少しずつやっていきましょう。上階にお住まいの方は、窓から転落しないよう十分お気をつけください。



床の水拭きは、週1回の頻度でやっておくと、大掃除をする必要がありません。洗剤は、タイル用、板用など素材に合わせて選びましょう。

壁の汚れは、案外気がつかないもの。しかし、よく見るとクモの巣が張っていたり、子どもの手あかがついていたりしますね。壁用洗剤St MARCを使って取り除きましょう。

【浴室・洗面台・トイレ】

浴室は、水を使うところなので、一番カビが生えやすいですね。使用後すぐに換気をしてカビが生えないようにしているものの、数カ月も使っていると、壁の角や天井にカビが生えてきます。健康上放置しておくのはよくないので、見つけたらすぐに拭き取りましょう。

それでも落ちないカビには、カビ取り液(写真右、HGブランド)を使うしかありません。カビに吹きかけ、10~20分放置しておく、黒ずみがなくなります。この後、水できれいに洗い流すか、雑巾でいいねいに薬品を拭き取りましょう。放置しておく、壁の色が変わったり、ペンキが剥がれてきますので、ご注意ください。また、強力な塩素の臭いがするので、換気も十分に。使用時の洋服は、薬品がついて脱色しても構わない古着をお勧めします。



洗面台のカルキは、お酢を振りかけてしばらく放置しておく、簡単に取り除けます。お酢の匂いも充満するので、換気をお忘れなく。

トイレを毎日掃除していても、黄ばんできたり、カルキがついたりします。これらは、意外にもトイレ用洗剤とブラシを使ってもきれいに取り除けません。ここでも登場するのが、お酢です。お酢をしっかり染み込ませたトイレトーパーを汚れた所に貼り付け、半日くらい放置してからブラシでこすっていき、見事に黄ばみがなくなります。便器の底が汚れている場合は、グラス1杯の漂白剤Javel(写真右)を流し込み、半日置いてからブラシでこするときれいになります。必要なら、これを繰り返します。



いずれの場合も、汚れたまま放っておくと、掃除に時間がかかりますので、小まめに掃除を繰り返し、常にきれいな水回りにおきましょう。危険な薬品を使うので、子どもに手のかからない時間帯に掃除をしてくださいね。